



【業務内容】 支障木伐採 / 広域伐採 / 草刈
メガソーラー草刈 (年間管理) / 造園管理
一般貨物 / CAD 設計 / ソーラーパネル事業 etc.

Company data

代表取締役 家守 政孝

日本庭園が好きで造園業を手がけていたが、エクステリアが主流となり出した同業界の流れを受け、林業の道へ。森林組合で11年間、山の中の大木などを伐採して修業を積む傍ら、造園業時代の縁で個人でも伐採の仕事に請け負う。3年ほど前に独立、2014年9月に法人化した。

Personal data



難易度の高い特殊伐採のプロとして 技術と美しさで感動をもたらす

畑山 木の伐採を専門に手がけておられると伺いました。一口に伐採と言っても様々だと思いますが、主にどのような依頼が多いのでしょうか？

家守 街中に立つ大木や神社の御神木など、個人ではなかなか伐採できない“特殊伐採”を得意としています。木を切る職業に「木こり」がありますが、基本的に木こりは森林の木を専門に扱い、電線や建物がある街中では切らないのです。一方で私たちが行うのは、木にロープやワイヤーをかけて上まで登り、周囲の建物などに木を当てないように空中で切っていく伐採方法。ほかにも、広域伐採や自社で保有している林業用ユンボなどの機械を使った伐採も可能です。重機を使うことで、自分たちで切った大木をそのまま移動させることができるんですよ。

畑山 かなり特殊な仕事ですね。相当な技術が求められそうです。

家守 おっしゃる通りで、一つひとつ違う木の形や重心を見極めながら、枝が落ちたり、木が倒れる方向まで全てを考慮してチェーンソーを当てていく必要があります。木の内部が腐っていることもありますから、そうした状況も確かめながら慎重に作業していくんです。

畑山 それほど繊細な作業を、木の上という足元の安定しない高所で行うと…。危険と隣り合わせの仕事ですね。

家守 ええ。ですからスタッフにも常々、事故だけは気をつけるように指導しています。切り口が数ミリ〜数センチずれるだけで倒れる方向が変わりますから、1回の失敗が事故の元になるんです。もし方向を間違って建物などに倒れたら甚大な被害が及びますし、場合によっては命に関わります。そうした緊張感の中、当社のスタッフは皆、集中して仕事に臨んでくれており、幸いこれまでに大きな事故を起こしたことは一度もありません。

畑山 それは素晴らしい。現在、スタッフの方は何名いらっしゃるのでしょうか。

家守 正社員3名、アルバイトも含めると10数名になりますね。やる気のある熱いスタッフたちと仕事ができているので、団結力も強いと自負していますよ。

畑山 皆で協力し合い、樹齢数百年という巨木を切り終えたときには、見守る街の人々から大きな歓声や拍手を頂けることも。そうして、最終的に皆さんを感動させられたときに大きなやりがいを感じます。

畑山 プロの技として、一種のパフォーマンス要素も含んでいるんですね。ニッチでありながら必ず必要とされる仕事ですし、今後の展開も非常に楽しみです。

家守 当社では最近、ホームページやCMを作成するなど、広報活動にも注力しているんです。林業を含む第一次産業は、正直に言うと表立って注目されることの少ない業界。従事者も減少傾向で苦しい状況にありますが、私たちの活動がより多くの方の目に留まることで、業界を活性化させる1つのきっかけになれば嬉しく思います。



Guest Comment

畑山 隆則 (元ボクシング世界王者)

現在は岡山県中の仕事を請け負っているようで、特殊伐採の他に通常の剪定や工場・ゴルフ場の敷地内にある支障木の管理なども手がけているとか。専門性の高さや確かな技術力があるだけに、今後は県外からの依頼も増えていきそうですね。さらなるご活躍を期待しています！